

講義名	対1)地域社会学			授業形態	
担当教員	脇 穂積	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

好む好まざるに関わらず、私たちは地域社会の中に生きています。講義では、地域社会学を理解する前に、社会学について詳しく論じます。社会学を理解したうえで地域社会学がどのように問題を整理、検討し、理論化させてきたかに議論を展開していきます。

地域社会に関する主要な概念である、地域、地域社会、コミュニティ、町内会・自治会、共同体など基本的な用語の理解を進めていきます。その後、地域社会の様々な変化-都市化、過疎化、グローバル化、自治のあり方等-を解説します。そのうえで、地域社会を巡る様々な論点-少子化・子育て、高齢化・介護、地域経済-について現況を解説し、その課題について考えていく。最後に、課題への理解を踏まえ、地域社会に関わる手法を身につけていきたい。

到達目標

本講義の到達目標は、
「社会」という存在が所与のものではないということを理解すること、
社会学という学問が、「地域」社会をどのように分析するが理解すること、
人間の定住生活の場である地域社会の歴史の変容を知ること、
今日の地域社会における諸問題と新たな地域社会づくりを知ること、
を通じて「地域社会」を多面的に理解する能力を身につけることにある。

提出課題

指定論文又は文献を事前に読み込み、講義日程に合わせてレポートを提出してください。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

各課題に対して提示された疑問点や質問を整理し、講義にて詳細説明いたします。また課題に関して、個別にもコメントし、各自に回答します。

評価の基準

講義中の質問 10%
講義課題の提出 90%

履修にあたっての注意・助言他

講義は、対面講義で行う予定です。

教科書	.地域学をはじめよう (岩波ジュニア新書 927).	山下祐介	岩波書店	990	978-4005009275
-----	----------------------------	------	------	-----	----------------

参考図書

.結婚不要社会.	山田昌弘	朝日新書	750	978-4022950208
.創造の社会学.	高橋正昭	講談社	700	4-06-145553-2

その他

『地域社会学入門』、山本勉編著、学文社、2019
『都市社会学入門』、豊田雅久・和田清美編著、文化書房博文社、2004

授業計画

1. イントロダクション
2. レジュー作成の方法論-トゥールミン3点ロジック
3. 地域社会学とは何か
4. 方法論への進
5. 問題はどう立てるか
6. 社会学の方法論に関する講義
7. 理論+経験をつなぐ
8. 科学的説明とは何か
9. 社会学の方法論に関する講義
10. 数量的研究の方法
11. 全体像をどうつかむか
12. 社会学の方法論に関する講義
13. 都市研究、途上国山田研究
14. 都市社会学の歴史、日本都市社会学研究史
15. 最終講義

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> A: PBL (課題解決型学習)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> I: 反転授業 (知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="radio"/> U: ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> E: グループワーク
<input type="radio"/> O: プレゼンテーション	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> K: 実習、フィールドワーク
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> K: その他 (A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

この授業科目は2単位ですが、2単位に必要な学修総時間は90時間と決められています。90時間の内訳は授業で30時間(2時間×15回)、予習・復習で60時間(4時間×15回)です。予習・復習等、授業時間外で60時間の学修を達成できるように主体的・積極的に取り組んでください。具体的には、授業前に各回の授業内容について文献やインターネットを検索する等情報収集をしておいてください(2時間)、また授業後に各回の授業内容を復習し、要点をまとめること。疑問点があれば質問できるように記録しておいてください(2時間)。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義では、地域社会の仕組みや働き、日常生活と文化など、現実社会の問題理解・発見を可能として、よりよい人間社会を創造することができる能力を向上します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

講義内での意見応答を、学内専任講師のRESPONあるいはmicrosoft teamを用いて可視化し、双方向授業実施も行う。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
現在、香川黒三豊市財田町で古民家再生プロジェクトを進めています。こちらの進捗報告も含め、現実の案件をテーマとして地域社会的に議論していきます。

備考